

いにしえ かみがみ
古の神々の宿る

兵庫の屋根おセット・クレジットのご案内

J-VER

森林は、国土の保全・水源のかん養・地球温暖化の防止・生物多様性の保持・木材等の生産機能などさまざまな働きをもっており、古くから私たちの暮らしを守り支え、豊かな地域文化を育んできました。

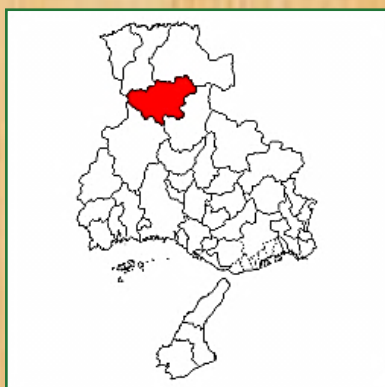
近年は、手入れ不足の森林が増える一方、海外では熱帯林を中心に森林が減少するなど、地球規模で森林の持つ公益的機能の荒廃が危惧されています。

その反面、私たちは日常の暮らしの中で、誰もがたかさんのCO₂（二酸化炭素）を排出しています。

既に影響を見せ始めている地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりがCO₂の排出を抑えることと同時に、CO₂を光合成により吸収して成長し、幹や枝に蓄えるなど地球の温暖化防止に大きく役立つ森林を守り、育てていく必要があります。



養父市イメージキャラクター
やっぷー



ひょうのせん

兵庫県の最高峰・氷ノ山が育む豊かな森からはじめる、環境保全への取り組み。

>> 養父市市有林森林管理プロジェクト



養父市は低炭素社会の構築をめざして、森林の経営とともに森林のもつCO₂の吸収機能を最大限に発揮するため、市有林及び市行造林の間伐を積極的に進める間伐促進プロジェクトに取り組み、「養父市市有林森林管理プロジェクト」としてJ-VER 認証運営委員会の認証を受けました。

プロジェクトの主な対象地は、氷ノ山（1,510m）、鉢伏山（1,221m）、妙見山（1,142m）、須留ヶ峰（1,054m）など、「兵庫の屋根」と呼ばれる標高1,000m級の山々に散在する市有林と市行造林で実施しました。

このJ-VER 認証により取得したクレジットを、環境貢献に取り組まれる市内外の企業や団体等の皆さまに販売します。このプロジェクトで得られる販売収入は、低炭素社会と持続可能な森林経営を実現するため、養父市の森林づくりに役立てていきます。

◆ オフセット・クレジット（J-VER）制度とは

J-VER 制度は、市場メカニズムを活用して、バイオマスの利活用や森林の整備・保全等の地球温暖化対策を推進できる新しい仕組みで、国内におけるCO₂の排出削減・吸収を一層促進するため、環境省が創設したものです。

国内で実施されるプロジェクトによるCO₂削減・吸収量をカーボン・オフセット用のクレジット（J-VER）として認証する制度で、平成20年11月から運用されています。

J-VERは企業(団体)と養父市の豊かな自然・人を繋ぐ架け橋



カーボンオフセットとは、「自分たち（企業・個人）が出す温室効果ガスに責任を持つ」という考えに基づいた自主的な取組です。日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。

カーボン・オフセット（J-VER購入）のメリット

カーボンオフセットは、費用対効果の高い温室効果ガスの排出量削減手段であると同時に、CSR／マーケティングに活用できるという大きなメリットがあります。

- 企業活動における様々な活動で排出されるCO₂をオフセットできます。
- 環境問題、社会・地域貢献活動に積極的に取り組まれる企業イメージの向上につながります。
- 環境へ配慮した商品であることを消費者に強くPRでき、他の商品・サービスとの差別化した販売を促進できます。

養父市市有林森林管理プロジェクト

対象面積： 278ヘクタール

クレジット量： 8,007 t-CO₂

（平成25年3月末時点）

『やっぶー』は養父市のイメージキャラクターとして、平成22年に誕生しました。

やっぶーの緑の手と足は「妙見杉」をイメージしており、妙見杉は市内北部の妙見山周辺に繁る樹齢250～400年の銘木で、江戸時代に行われた出雲大社の大改修（寛文の御造営）の際に御本殿の柱として大木12本を提供したとされており、現在、名草神社境内にある三重塔（国指定重要文化財）はその御礼として出雲大社より譲り受けたものとされています。



〒667-0198

兵庫県養父市広谷250番地1（養父市役所 養父庁舎内）

養父市 産業環境部 **環境推進課**

TEL **079-664-2033** FAX 079-664-1758

E-mail: kankyuu@city.yabu.hyogo.jp

<http://www.city.yabu.hyogo.jp/>

